

Shizuoka City Shimizu nursing technical school  
静岡市立清水看護専門学校  
〈助産学科〉

清水看護専門学校では  
女性の一生を支える助産師になるために  
3つの力を身につけます！



Compassionate heart

思いやるこころ



Clinical judgment

臨床判断力



Clinical practical ability

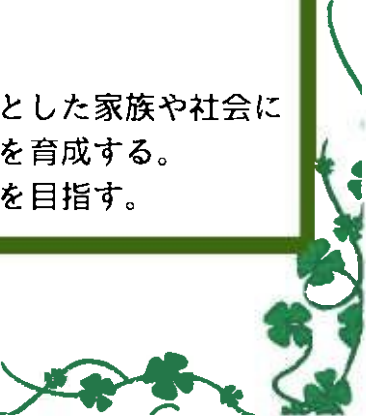
臨床実践力


● 教育理念

静岡市立看護専門学校の果たす役割は、人々が住み慣れた地域で、健康で安心・安全な暮らしが送れるように生活と保健・医療・福祉をつなぎ地域を支える取り組みに貢献する看護職の養成です。

静岡市立清水看護専門学校では、地域に貢献できる人材として、どのような健康状態であっても自分らしく生活を送りたいという人々のねがいの実現に向けて、その役割を果たせる看護実践者を、社会に送りだしたいと考えています。

● 教育目的

- 1 生命を尊重し、安全で質の高い助産実践能力を身につけ、母子を中心とした家族や社会に対し、女性の生涯を通じて性と生殖に関する健康を支援できる助産師を育成する。
  - 2 地域・国際社会における母子保健の発展に貢献できる自律した助産師を目指す。
- 




● ディプロマポリシー（卒業時に身につける能力）

- 1 生命を尊重し、助産師としての倫理観と責任感をもち、対象と良好な人間関係を築くことができる。
- 2 女性のライフサイクル各期における性と生殖に関する健康・権利について理解し、助産実践に活用できる。
- 3 助産に必要な幅広い知識と技術を修得し、正常な妊産褥婦・新生児の診断について理解し、助産実践に活用できる。
- 4 知識・技術を統合して、予期せぬ場面や対象の状況に合わせた柔軟な思考をもって対応ができる。
- 5 人々が住み慣れた地域で、どのような状況においても安心・安全に子どもを産み育てられる地域づくりに関わり、地域に貢献できる能力を養う。
- 6 専門職として常に自己の課題を見出し、追及していくことができる。

● アドミッションポリシー（本校が求める学生像）

- 1 生命及び人間を尊び、何事にも誠実に取り組み、責任ある行動がとれる人。
- 2 看護学の知識・技術を基盤に、助産学の専門的知識と技術を学び、自らの力で向上しようと努力する人。
- 3 地域の母子保健に関心を持ち、多様な社会の要請に応じて貢献したいという熱意のある人。
- 4 助産の実践者として地域に貢献することを目指す人。

● 助産学科で取得できる資格

- 1 助産師国家試験の受験資格  
助産師国家試験に合格すると、助産師の免許が得られます。
  - 2 受胎調節実地指導員の申請資格  
本校の課程を修了すると、「受胎調節実地指導員認定講習修了証明書」が発行され、申請を行うことにより受胎調節の実施指導を行うことができます。
  - 3 新生児蘇生法「専門」コース（Aコース）修了認定  
本校の課程を修了し認定試験に合格すると、「新生児蘇生法専門コース修了認定証」が発行され、高度な新生児蘇生法の技術を実践で活かすことができます。
- 

● カリキュラム

基礎助産学 7単位 135時間

(科目) 助産学概論、母子の基礎科学、女性の健康科学、  
家族の心理・社会学、カウンセリング技法、健康教育演習、  
助産学研究

助産診断・技術学 10単位 270時間

(科目) 妊娠期の助産診断・技術学、分べん期の助産診断・技術学、  
産じょく期の助産診断・技術学、新生児期の助産診断・技術学、  
分べん介助技術、妊娠期の指導技術、産じょく期の指導技術、  
母児救命、臨床判断演習、ウイメンズヘルスケア

地域母子保健 2単位 45時間

(科目) 地域母子保健Ⅰ、地域母子保健Ⅱ

助産管理 2単位 45時間

(科目) 助産管理、災害と助産

助産学実習 11単位 495時間

(科目) 助産診断・技術学実習Ⅰ、助産診断・技術学実習Ⅱ、  
地域母子保健実習

合計 32単 990時間

助産学科での1年は、勉強・実習と、とても忙しく大変ですが、きっと充実した1年となるでしょう。

同じ目標をもつ仲間と励まし支えあい、希望の助産師となれるよう頑張りましょう。

静岡市立清水看護専門学校は、助産師を目指す皆様を全力でサポートさせていただきます！